

地域外の需要に着目し、地元特産のもずく加工を行っている沖縄の企業

沖縄県浦添市の(株)シーズ(従業員 15 名・資本金 1,000 万円)は、沖縄県の名産であるもずくを使用して、乾燥もずくや、もずくの二次加工品、もずく抽出化粧品の製造を手掛け、県外へも販売している。

社長は地元ラジオ局でパーソナリティを務めるが、その番組の中でもずくの生産関係者と出会い、沖縄の地域経済に貢献するために、もずくを活用した事業を始めた。もずくの県外での流通規模は、県内での生産高をはるかに超えていることに着目し、県内で製品加工を手掛けて県外で販売すれば、産業として成立すると考えた。食用としてのもずくは、「もずく酢」しか存在しなかったが、乾燥させることで保存が利くようになり、利用価値が広がった。現在では、沖縄県内はもとより、神奈川県直営物産店においても販売を手掛けている。

もずくを活用した新商品

